

C 2024/9/29(日)9:50-12:50

「口腔に関する理解を深めよう (3) ～口腔内に生じる薬剤の副作用～」

「新規除菌消臭成分 MA-T 含有口腔保湿剤の作用と口腔ケアへの応用」

講座情報

「口腔に関する理解を深めよう (3) ～口腔内に生じる薬剤の副作用～」

大山 順子

薬剤師には医療機関に通院していない国民に対しても健康サポートを担うことが求められてくることから、本講座では 2022 年には口腔に関する基礎知識と全身に影響する口腔疾患について、2023 年には口腔乾燥症に絞って、どのように患者さんから情報を収集して口腔内のフィジカルアセスメントを行いサポートしていくかをお話し、薬剤師の先生方に医歯薬連携の要として、口腔についての対応をしていただく必要性をお話してきました。

今回は、「薬剤関連顎骨壊死の病態と管理：顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー 2023」が公開されたこともあり、薬剤関連顎骨壊死の実際、2016 ポジションペーパーとの相違点、医歯薬連携のために薬剤師の先生方に行っていただきたいことをお話しするとともに、その他の口腔内に症状が出現する薬剤についての実際も提示したいと思います。

明日からの臨床の場での実践に役立てていただければ幸いです。

《学習到達目標》

- ・口腔内に症状が出現する薬剤の副作用を説明できる。
- ・薬剤関連顎骨壊死について説明でき、医歯薬連携の要として対応できる。

「新規除菌消臭成分 MA-T 含有口腔保湿剤の作用と口腔ケアへの応用」

阪井 丘芳

これまでに我々は誤嚥性肺炎を防ぐために口腔ケア活動を行ってきました。そこで新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に対する対策を考慮し、「MA-T」(要時生成型亜塩素酸イオン水溶液) を用いた口腔ケア用品を開発しました。MA-T は画期的な触媒技術により、通常はほぼ水に近い状態でありながらウイルスや菌がある時だけ姿を変えて攻撃し分解します。高い安全性を備えた優れた除菌消臭剤です。すでに全ての国内線航空機やオリンピック・パラリンピックの聖火リレーにおいてアルコール消毒の代わりに利用されています。

興味深いことですが、口腔ケア用品を開発中偶然に、除去しづらい喀痰・剥離上皮・血餅等の口腔内の汚染物を柔らかくする作用を発見しました。研究の結果、口腔ケアを安全に手早くでき、効果的な除菌・消臭だけでなく、汚れの再付着を抑制できることが分かりました。

医療従事者の負担を軽減するだけでなく、医療・介護現場におけるウイルス拡散を防ぐために、未来型の感染対策として提案していきたいと思います。

《学習到達目標》

- ・口腔から感染症を制御する方法や考え方を修得する。
- ・新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が感染するメカニズムを理解する。
- ・医療・介護現場において口腔からの感染制御の方法を解説できるようになる。

講演者情報

口腔に関する理解を深めよう(3) ～口腔内に生じる薬剤の副作用～

大山 順子

九州大学病院 顔面口腔外科 講師

プロフィール

<略歴>

- 1988 年 九州大学歯学部卒業 歯科医籍登録
- 1994 年 九州大学大学院歯学研究科博士課程単位修得
九州大学歯学部附属病院 医員
- 1995 年 九州大学 歯学博士
- 1997 年 九州大学歯学部文部教官 助手
- 1998 年 米国バージニア大学医学部内科リウマチ学教室 ポスドク
- 2001 年 九州大学歯学部文部教官 助手 復職
- 2007 年 九州大学大学院歯学研究科歯学部門 助教
- 2019 年 九州大学病院顔面口腔外科 講師 現在に至る

<認定資格>

臨床研修指導歯科医

日本口腔外科学会 専門医

日本口腔科学会 認定医・指導医

日本口腔内科学会 専門医・指導医

新規除菌消臭成分 MA-T 含有口腔保湿剤の作用と口腔ケアへの応用

阪井 丘芳

大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学講座 教授

プロフィール

<略歴>

- 1991 年 徳島大学歯学部 卒業
- 1991 年 大阪大学歯学部附属病院 第一口腔外科 研修医
- 1994 年 大阪警察病院 歯科口腔外科 医員
- 2000 年 米国国立衛生研究所(NIH) 客員博士研究員
- 2001 年 日本学術振興会 海外特別研究員
- 2004 年 大阪大学歯学部附属病院 口腔外科(制御系) 講師
- 2006 年 米国国立衛生研究所(NIH) 客員教授
大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室 教授
(兼任)大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部 部長

2022 年 (兼任)大阪大学感染症総合教育研究拠点(CiDER) 教授

2023 年 (名称変更)大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学講座 教授

<認定資格>

大阪大学博士(歯学)取得(1999 年)

日本口腔外科学会 認定口腔外科指導医

日本口腔科学会 指導医

日本口蓋裂学会 指導医

日本抗加齢医学会 専門医

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 認定士

<所属学会・委員等>

日本口腔科学会 理事

国際口蓋裂学会(ICCPA) President(理事長)

日本口蓋裂学会 理事

日本唾液腺学会 副理事長

抗加齢歯科医学研究会 代表

日本抗加齢医学会 理事

再生医療抗加齢学会 理事

日本口腔組織培養学会 理事

歯科基礎医学会 理事

日本老年薬学会 理事

MA-T 学会 理事

日本口腔リハビリテーション学会 理事

IADR・JADR 評議員

日本再生医療学会 代議員

日本睡眠歯科学会 評議員

日本口腔外科学会

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会

<受賞歴等>

米国 NIH Visiting Program Award(2000-2001 年, 2004-2006 年)

Gordon Research Conference-Salivary Glands and Exocrine Biology- Best Poster Award(2003 年, 2010 年, 2017 年)

第 2 回口腔医科学フロンティア最優秀賞(2003 年)

平成 18 年度国立大学法人大阪大学教育・研究功績賞(2007 年)

第 89 回米国口腔顎顔面外科学会最優秀講演賞(2007 年)

平成 22 年度国立大学法人大阪大学功績賞(2010 年)

第 16 回歯科基礎医学会ライオン学術賞(2016 年)

主要著書・参考文献

ドライマウスー今日から改善・お口のかわきー第2版 医歯薬出版 2023

高齢者のドライマウスー口腔乾燥症・口腔ケアの基礎知識ー 医歯薬出版 2017

睡眠時無呼吸症候群の口腔内装置治療ー 医歯薬出版 2014

Human induced pluripotent stem cell-derived salivary gland organoids model SARS-CoV-2 infection and replication. Nat Cell Biol. 2023

Immunohistochemical detection of ACE2 in human salivary gland. Oral Sci Int. 2020

Btbd7 regulates epithelial cell dynamics and branching morphogenesis. Science. 2010

Fibronectin requirement in branching morphogenesis. Nature. 2003

参考サイト

<https://lab-brains.as-1.co.jp/enjoy-learn/2022/06/37171/>

<http://seisan.server-shared.com/743/743-17.pdf>

<https://www.youtube.com/watch?v=n-GRtyOB9g0>

https://www.youtube.com/watch?v=rx2SOTxW_h0

https://wwwc.cao.go.jp/lib_011/25-23kansensyou4.html

<https://www.tv-tokyo.co.jp/plus/business/entry/2021/024370.html>